

第6章 中国の輸出成長要因

明石 光一郎

1. はじめに

近年の中国の輸出の伸びは著しい。第1表に輸出及びGDPの変化を示す。

第1表 GDP 及び輸出

年	GDP 億ドル	GDP成長率 (%)	輸出 億ドル	輸出成長率 (%)	輸出/GDP (%)
1980	1,894	7.8	202	6.8	10.6
1981	1,941	5.2	244	15.4	12.6
1982	2,032	9.1	236	-4.1	11.6
1983	2,285	10.9	232	-3.1	10.1
1984	2,574	15.2	267	11.1	10.4
1985	3,067	13.5	282	1.3	9.2
1986	2,978	8.8	296	-8.4	9.9
1987	2,704	11.6	392	12.0	14.5
1988	3,095	11.3	459	4.5	14.8
1989	3,440	4.1	478	-3.2	13.9
1990	3,569	3.8	574	5.0	16.1
1991	3,795	9.2	659	10.7	17.4
1992	4,227	14.2	788	12.4	18.6
1993	4,405	14.0	869	12.9	19.7
1994	5,592	13.1	1,192	28.8	21.3
1995	7,280	10.9	1,472	8.9	20.2
1996	8,561	10.0	1,717	12.7	20.1
1997	9,527	9.3	2,072	22.9	21.8
1998	10,195	7.8	2,074	7.2	20.3
1999	10,833	7.6	2,210	13.9	20.4
2000	11,985	8.4	2,796	32.0	23.3
2001	13,248	8.3	2,994	10.1	22.6
2002	14,538	9.1	3,654	28.1	25.1
2003	16,410	10.0	4,850	27.6	29.6
2004	19,316	10.1	6,558	27.3	34.0
2005	22,569	11.3	8,369	23.7	37.1
2006	27,130	12.7	10,617	23.9	39.1
2007	34,941	14.2	13,422	19.8	38.4
2008	45,218	9.6	15,817	8.4	35.0
2009	49,913	9.2	13,333	-10.3	26.7
2010	59,266	10.4	17,526	28.4	29.6

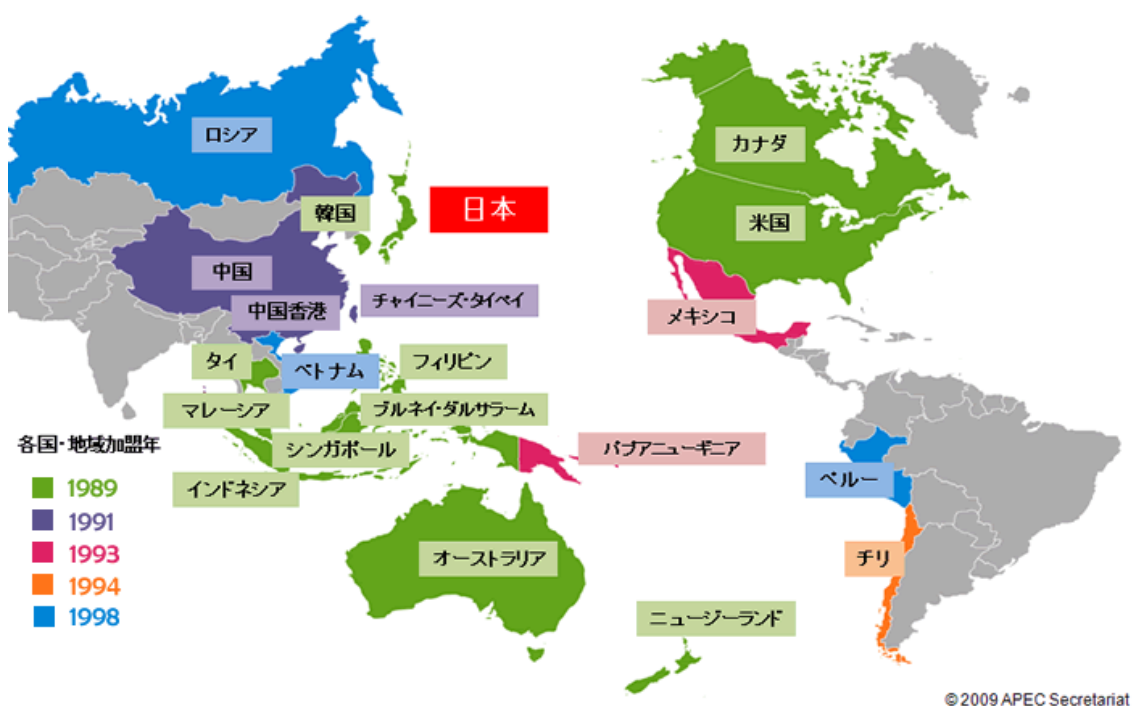
資料：World Bank.

中国の輸出額は 2009 年にドイツを抜き世界一になっている。輸出は 2000 年から 2010 の期間を見ても、2,796 億ドルから 17,526 億ドルへと 6 倍以上になっている。また 91 年以降の GDP の成長もめざましく、この 20 年間で 7%をわりこんだ年はない。また輸出の GDP に占める構成比率も、改革開放が始まった翌年の 1979 年には 8.5%であったのが、2000 年には 20%にまで拡大し、2004 年～2008 年には 30%を超えている。2009 年以降はやや落ち込みが見てとれるが、これはリーマン・ショックの影響と考えられる。このように中国は輸出主導で経済発展を遂げてきたことがわかる。すなわち輸出は中国経済の生命線ということができよう。

本研究では、中国の輸出の成長要因を分析する。すなわち、ある国の輸出成長をもたらした要因を、世界需要、商品構成、市場構成及び競争力の 4 要因に分解するコンスタント・マーケット・シェア（CMS）分析を用いて、いかなる要因が中国の輸出成長に主要な影響をもたらしたかを調べる。

2. 対象地域

中国の貿易成長の国際比較を行うため APEC(Asia-Pacific Economic Cooperation)諸国を対象地域とする。なお APEC 加盟国は 21 カ国あるが、分析を簡単にするため、中国の輸出が多いトップ 13 ケ国を対象国とした。従って分析対象国は中国以外に、日本、韓国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、台湾、タイ、ロシア、メキシコ、オーストラリア、カナダ、及びアメリカである。なお APEC のメンバーは第 1 図のとおりである。



第 1 図 APEC のメンバー国

資料： http://www.meti.go.jp/policy/trade_policy/apec/overview/description.html

3. CMS 分析

ある国の輸出変化は以下の式により説明される。

$$V^1 - V^0 = rV^0 + \sum_i \sum_j (r_{ij} - r_j)V^0 + \sum_i \sum_j (r_{ij} - r_i)V^0 + \sum_i \sum_j (V^1 - V^0 - r_{ij}V^0) + \sum_i \sum_j (r_i + r_j - r_{ij})V^0 \quad (1)$$

ここで

V^0 : 第 0 期におけるある国の輸出額,

V^1 : 第 1 期におけるある国の輸出額,

r : 第 0 期から第 1 期へかけての域内貿易の増加率,

r_i : 第 0 期から第 1 期へかけての i 財の域内の輸入増加率,

r_j : 第 0 期から第 1 期へかけての j 国の域内からの輸入増加率,

r_{ij} : 第 0 期から第 1 期へかけての j 国の i 財の域内からの輸入増加率,

を表す。

また(1)式の右辺はある国の輸出変化額を示し、左辺第 1 項は市場要因、第 2 項は純品目要因、第 3 項は純国別要因、第 4 項は競争力要因、第 5 項は残差である。

なおこれまでの CMS 分析では以下の式を使用する研究が多かった。

$$V^1 - V^0 = rV^0 + \sum_i (r_i - r)V^0 + \sum_i \sum_j (r_{ij} - r_i)V^0 + \sum_i \sum_j (V^1 - V^0 - r_{ij}V^0) \quad (2)$$

$$V^1 - V^0 = rV^0 + \sum_j (r_j - r)V^0 + \sum_i \sum_j (r_{ij} - r_j)V^0 + \sum_i \sum_j (V^1 - V^0 - r_{ij}V^0) \quad (3)$$

(2)式において、第 2 項は品目要因を、第 3 項は国別要因を表すとされた。また(3)式においては第 2 項が国別要因を、第 3 項が品目要因を表すとされた。これらの式を使う問題点は、いずれの式を使うかで国別要因と品目別要因の値が違ふことである。筆者もこれらの式を使用して計算したが、値が大きく変化したり、符号が変わってしまう場合があり、どちらの式を選択するかで全く異なる結果が出る場合がありうるということが判明した。従って(2)式または(3)式のいずれを選択するかには恣意性が伴い、国別要因と品目要因を識別することが困難な場合がありうるといえる。すなわち国別要因と品目要因のいずれを先に計算するかによって、国別要因と品目要因の寄与率が変わるのである。そのような問題を避けるために、例えば横田・浦田・小浜(1993)⁽¹⁾は国別構成要因を先に計算した結果と品目別構成要因を先に計算した結果との単純平均を採用している。しかし、そのような単純平均が経済学的にどのような意味があるのかは疑問が残る。また、黒沼(2008)⁽²⁾は Richardson(1971)⁽³⁾を引用し、「品目要因と国別要因の合計はいずれの手法でも変わらない」

ことと、分析の中心が競争力要因であるために、平均値を採る手法は用いず、(2)式による分析を行っている。本研究では恣意性を避けるために、(2)式第3項を純国別要因と定義し、(3)式第3項を純品目要因と定義する式を開発・使用した。

4. CMS 分析の結果 全品目

CMS 分析の結果を示す。

第 2 表 CMS 分析の結果 全品目

単位：百万ドル

	年	貿易変化額	市場要因	純品目要因	純国別要因	競争力要因	残差
中国	1998～2002	78,938	23,390	-945	-1,051	58,260	-715
	2002～2006	282,899	116,832	-10,614	-5,788	182,152	316
	2006～2010	223,845	124,331	-5,024	-9,878	125,434	-11,018
日本	1998～2002	40,225	57,651	2,907	18,531	-35,151	-3,713
	2002～2006	143,964	181,346	-8,185	30,771	-60,361	392
	2006～2010	76,265	111,803	-28,536	29,282	-44,637	8,354
韓国	1998～2002	29,280	17,794	-2,370	4,338	7,477	2,040
	2002～2006	92,286	67,624	-2,687	16,580	7,197	3,572
	2006～2010	74,101	52,309	-5,991	27,664	-3,728	3,847
インドネシア	1998～2002	11,268	6,232	-293	-1,219	3,953	2,595
	2002～2006	28,525	24,383	5,918	-2,369	-3,037	3,630
	2006～2010	32,740	17,554	16,278	11,795	-5,677	-7,210
マレーシア	1998～2002	13,835	9,715	-248	-251	3,433	1,186
	2002～2006	35,835	35,435	952	2,504	-3,827	771
	2006～2010	21,158	23,965	5,386	8,003	-14,213	-1,983
フィリピン	1998～2002	4,377	4,804	-5	-70	-124	-229
	2002～2006	-4,240	15,821	-2,325	-320	-17,502	87
	2006～2010	4,550	5,133	205	324	-601	-511
台湾	1998～2002	13,445	13,510	-1,260	-885	1,605	475
	2002～2006	58,386	45,273	-1,850	5,483	8,762	719
	2006～2010	34,390	34,085	-5,748	20,063	-16,329	2,318
タイ	1998～2002	10,378	7,436	-784	302	3,297	128
	2002～2006	33,595	26,975	-1,117	1,316	7,010	-589
	2006～2010	31,567	19,981	3,172	8,278	1,901	-1,765
ロシア	1998～2002	2,319	2,515	-594	1,841	-1,720	278
	2002～2006	17,681	8,301	3,637	4,585	766	392
	2006～2010	29,709	8,168	6,264	8,684	9,699	-3,107
メキシコ	1998～2002	41,603	27,400	409	-3,721	17,867	-352
	2002～2006	74,530	101,723	1,789	-14,733	-10,736	-3,513
	2006～2010	34,585	61,002	1,619	-46,681	17,590	1,056
オーストラリア	1998～2002	6,035	6,389	-924	-413	-1,536	2,519
	2002～2006	29,241	21,188	7,504	947	-2,129	1,731
	2006～2010	67,936	16,479	18,944	15,969	24,096	-7,552
カナダ	1998～2002	34,608	47,556	6,074	-633	-13,987	-4,403
	2002～2006	110,816	150,578	15,536	-23,260	-31,615	-423
	2006～2010	-11,759	90,434	2,713	-74,749	-44,579	14,422
アメリカ	1998～2002	33,619	95,536	-1,967	-16,768	-43,372	189
	2002～2006	169,652	277,691	-8,558	-15,717	-76,678	-7,085
	2006～2010	103,387	157,229	-9,281	1,246	-48,956	3,150

資料：Global Trade Atlas から作成。

第3表 CMS分析の結果 全品目 構成比

単位：％

	年	貿易変化額	市場要因	純品目要因	純国別要因	競争力要因	残差
中国	1998～2002	100	30	-1	-1	74	-1
	2002～2006	100	41	-4	-2	64	0
	2006～2010	100	56	-2	-4	56	-5
日本	1998～2002	100	143	7	46	-87	-9
	2002～2006	100	126	-6	21	-42	0
	2006～2010	100	147	-37	38	-59	11
韓国	1998～2002	100	61	-8	15	26	7
	2002～2006	100	73	-3	18	8	4
	2006～2010	100	71	-8	37	-5	5
インドネシア	1998～2002	100	55	-3	-11	35	23
	2002～2006	100	85	21	-8	-11	13
	2006～2010	100	54	50	36	-17	-22
マレーシア	1998～2002	100	70	-2	-2	25	9
	2002～2006	100	99	3	7	-11	2
	2006～2010	100	113	25	38	-67	-9
フィリピン	1998～2002	100	110	0	-2	-3	-5
	2002～2006	100	-373	55	8	413	-2
	2006～2010	100	113	5	7	-13	-11
台湾	1998～2002	100	100	-9	-7	12	4
	2002～2006	100	78	-3	9	15	1
	2006～2010	100	99	-17	58	-47	7
タイ	1998～2002	100	72	-8	3	32	1
	2002～2006	100	80	-3	4	21	-2
	2006～2010	100	63	10	26	6	-6
ロシア	1998～2002	100	108	-26	79	-74	12
	2002～2006	100	47	21	26	4	2
	2006～2010	100	27	21	29	33	-10
メキシコ	1998～2002	100	66	1	-9	43	-1
	2002～2006	100	136	2	-20	-14	-5
	2006～2010	100	176	5	-135	51	3
オーストラリア	1998～2002	100	106	-15	-7	-25	42
	2002～2006	100	72	26	3	-7	6
	2006～2010	100	24	28	24	35	-11
カナダ	1998～2002	100	137	18	-2	-40	-13
	2002～2006	100	136	14	-21	-29	0
	2006～2010	100	-769	-23	636	379	-123
アメリカ	1998～2002	100	284	-6	-50	-129	1
	2002～2006	100	164	-5	-9	-45	-4
	2006～2010	100	152	-9	1	-47	3

資料：Global Trade Atlas から作成。

第4表 競争力要因の内訳 全品目

単位：100万ドル

中国	1998～2002	日本	中国	韓国	インドネシア	マレーシア	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	農水産物	1,239	0	607	-27	87	-219	51	77	144	12	48	51	544	2,615
	鉱物・資源	-26	0	7	172	68	89	180	-43	29	21	34	12	-626	-83
	化学・ゴム	398	0	327	182	75	95	171	111	33	142	224	31	1,680	3,468
	皮革・繊維	3,577	0	1,121	289	209	186	291	57	323	851	471	569	3,426	11,369
	鉄鋼・金属	843	0	547	199	136	66	95	26	74	59	281	239	2,596	5,161
	機械・電機	5,959	0	2,006	732	2,256	60	1,355	975	405	675	675	720	14,052	29,870
	輸送・精密機械	1,048	0	-210	48	-45	77	203	80	42	111	49	68	795	2,266
	その他	725	0	53	49	45	25	50	8	75	124	149	308	1,984	3,593
	品目計	13,762	0	4,456	1,643	2,831	380	2,396	1,291	1,125	1,996	1,931	1,998	24,450	58,260
日本	1998～2002	日本	中国	韓国	インドネシア	マレーシア	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	農水産物	0	52	117	-156	-1	-6	-88	-55	6	0	19	-3	-10	-124
	鉱物・資源	0	-101	253	10	-30	-33	-92	14	-9	-2	8	-1	-291	-275
	化学・ゴム	0	-238	-210	-350	-227	-19	-27	-176	-121	-77	-102	-13	-1,596	-3,156
	皮革・繊維	0	-347	-266	-69	-34	-1	-105	9	-11	-13	-50	-17	-170	-1,074
	鉄鋼・金属	0	-340	681	-158	-274	55	-110	-193	-31	-12	56	-209	-2,789	-3,323
	機械・電機	0	-5,139	-405	-563	-1,322	-203	-3,592	-519	-210	-1,457	-419	-119	-16,712	-30,659
	輸送・精密機械	0	1,767	904	416	581	116	1,194	699	283	119	-816	824	-1,593	4,494
	その他	0	-32	4	-2	-27	0	-7	25	-3	-3	-87	27	-930	-1,034
	品目計	0	-4,378	1,079	-873	-1,335	-90	-2,826	-196	-96	-1,444	-1,391	489	-24,090	-35,151
中国	2002～2006	日本	中国	韓国	インドネシア	マレーシア	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	農水産物	1,525	0	106	-60	8	194	106	138	39	215	113	182	1,350	3,918
	鉱物・資源	-1,305	0	-87	-318	-168	-301	-42	-76	-48	-140	-67	32	623	-1,897
	化学・ゴム	2,355	0	1,016	343	404	231	840	378	574	299	406	455	3,956	11,257
	皮革・繊維	2,044	0	1,273	659	690	320	327	401	477	688	570	2,150	16,479	26,078
	鉄鋼・金属	793	0	5,462	666	530	460	2,039	1,263	298	622	560	1,365	8,135	22,193
	機械・電機	10,897	0	7,784	1,343	2,943	1,524	5,573	1,987	1,931	2,438	2,675	3,691	52,379	95,166
	輸送・精密機械	2,376	0	1,056	428	1,496	144	865	213	365	442	648	513	7,856	16,402
	その他	916	0	474	36	105	35	104	77	117	234	375	606	5,956	9,037
	品目計	19,602	0	17,084	3,098	6,009	2,608	9,811	4,381	3,753	4,799	5,282	8,995	96,734	182,154
日本	2002～2006	日本	中国	韓国	インドネシア	マレーシア	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	農水産物	0	26	-4	3	-4	2	47	5	4	1	-61	-9	-103	-93
	鉱物・資源	0	-328	72	-183	3	-13	118	-60	24	1	385	-1	618	638
	化学・ゴム	0	-2,079	475	-350	-641	-28	-7	-95	70	-115	-196	-137	-4,117	-7,220
	皮革・繊維	0	-1,358	-230	-135	-132	-107	-101	-13	-14	10	-65	-25	-277	-2,446
	鉄鋼・金属	0	-3,036	-2,918	-617	-683	-282	-1,667	-1,298	-124	26	105	-66	-2,194	-12,755
	機械・電機	0	-3,955	-2,902	-889	-1,041	-1,503	761	-691	-169	1,604	-884	-281	-16,216	-26,166
	輸送・精密機械	0	-5,639	-260	-680	-1,663	-443	-815	-468	607	1,683	-487	10	-2,562	-10,718
	その他	0	58	-82	-40	-83	-20	-55	-14	2	3	-132	-66	-1,165	-1,594
	品目計	0	-16,312	-5,849	-2,890	-4,244	-2,395	-1,720	-2,633	401	3,214	-1,335	-574	-26,016	-60,353
中国	2006～2010	日本	中国	韓国	インドネシア	マレーシア	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	農水産物	-986	0	-996	294	-127	-194	539	457	70	66	54	143	1,089	409
	鉱物・資源	-2,480	0	-3,275	217	-180	51	-831	146	-11	-60	-181	-33	-1,247	-7,885
	化学・ゴム	573	0	877	301	756	269	1,875	873	388	709	801	533	4,393	12,347
	皮革・繊維	1,862	0	-455	863	747	784	309	746	-175	-20	444	909	17,950	23,964
	鉄鋼・金属	253	0	-1,635	-231	619	234	-1,621	-312	602	151	480	137	498	-826
	機械・電機	10,489	0	8,940	1,538	1,915	1,416	2,862	1,828	1,620	4,228	3,760	1,997	31,662	72,255
	輸送・精密機械	764	0	3,641	-395	4	-52	1,159	776	988	1,925	327	389	5,817	15,344
	その他	1,228	0	100	333	388	340	42	590	58	255	639	788	5,068	9,827
	品目計	11,704	0	7,196	2,920	4,121	2,849	4,334	5,102	3,540	7,254	6,323	4,863	65,229	125,434
日本	2006～2010	日本	中国	韓国	インドネシア	マレーシア	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	農水産物	0	-713	-148	-26	-10	-1	-86	-84	32	-1	-8	-5	-25	-1,076
	鉱物・資源	0	-2,023	-928	23	-1	221	-344	25	-11	104	379	50	-606	-3,111
	化学・ゴム	0	-1,217	-523	-153	-454	-381	-1,328	-478	41	70	-138	28	-968	-5,501
	皮革・繊維	0	-751	80	-26	-138	-19	-26	-200	100	-2	97	-1	-142	-1,028
	鉄鋼・金属	0	2,853	972	361	-65	-476	962	596	153	53	-1,198	-109	-130	3,972
	機械・電機	0	-712	-5,245	236	-289	-176	800	629	-618	-1,613	-1,065	-590	-14,909	-23,553
	輸送・精密機械	0	954	-1,361	240	784	-300	-1,324	234	-1,343	-293	-500	-229	-10,418	-13,555
	その他	0	-27	-69	-32	-105	-51	-21	-310	12	62	-4	13	-252	-785
	品目計	0	-1,636	-7,222	622	-279	-1,184	-1,367	412	-1,634	-1,621	-2,437	-842	-27,450	-44,637

資料：Global Trade Atlas から作成。

品目については、ここでは、分析上の便宜等を考慮して、「農水産物」（関税率表 1～24 類）、「鉱物・資源」（同 25～27 類）、「化学・ゴム」（同 28～40 類）、「皮革・繊維」（同 41～67 類）、「鉄鋼・金属」（同 68～83 類）、「機械・電機」（同 84～85 類）、「輸送・精密機器」（同 86～92 類）および「その他」（93～97 類）に分類した。

まず第 2 表と第 3 表からわかることは、中国の輸出増加が APEC の他の国と比較して、いずれの時期においても、際だって大きいということである。そして輸出増加額の大部分を競争力要因が占めていることである。日本は、いずれの時期においても輸出増加額は中国に及ばなかった。しかし 1998 年から 2002 年、2002 年から 2006 年にかけては、日本の輸出増加額は市場効果だけをみれば中国より大きかったのである。すなわち、域内市場と同じ比率で輸出が伸びていれば、日本は中国よりも大きい輸出増加を達成できた。日本と中国の輸出増加の違いは競争力要因によるものである。中国の競争力要因がいずれの時期においても域内諸国で最も大きかったのに対して、日本の競争力要因は常にマイナスの値である。すなわち対象時期において、中国は大幅に競争力を増加し、日本は減少させたといえよう。

競争力要因の定義からして、その域内合計はゼロとなる。従って、中国の競争力要因が大きいプラスの値をとるということは、域内の他の国の競争力要因の値がマイナスにならなければならない。実際、第 2 表にみるように、中国以外のほとんどの国の競争力要因はおおむねマイナスの値である。すなわち、中国は他の国の競争力を奪うことで成長を続けたといえよう。

つぎに中国の競争力要因を細かくみてみよう。その際に、中国と対照的な動きをしている日本との比較を行う。まず驚くべきことに、対象期間のすべてにおいて、中国の競争力要因はほとんどすべての品目においてプラスであった。それとは逆に、日本の競争力要因は、対象期間のすべてにおいてほとんどすべての品目においてマイナスであった。まず 1998 年から 2002 年をみる。中国の競争力要因は 583 億ドルのプラスである。品目では機械・電機が 299 億ドルと半分以上を占めている。国では、アメリカが 245 億ドルとほぼ半分を占めている。

そしてアメリカの機械・電機だけで 141 億ドルと 1/3 を占めているのである。また鉱物・資源を除くすべての品目と、すべての国に対して競争力要因はプラスであった。逆に日本の競争力要因は 351 億ドルのマイナスであった。品目では機械・電機のマイナスが 301 億ドルとその大部分を占め、国ではアメリカが 241 億ドルである。輸送・精密機器を除くすべての品目と、カナダ、韓国を除くすべての国に対して競争力要因はマイナスであった。あたかも日本の競争力要因のマイナスがそのまま中国の競争力要因のプラスになっているかのようにみえる。

つぎに 2002 年から 2006 年をみる。中国の競争力要因は 1,822 億ドルのプラスである。品目では機械・電機が 952 億ドルとほぼ半分を占めている。国では、アメリカが 967 億ドルとほぼ半分を占めている。そしてアメリカの機械・電機だけで 523 億ドルと 1/4 以上を

占めているのである。鉱物・資源を除くすべての品目と、すべての国に対して競争力要因はプラスであった。日本の競争力要因は 604 億ドルのマイナスであった。品目では機械・電機のマイナスが 262 億ドルであり、国ではアメリカがマイナス 260 億ドルである。鉱物・資源を除くすべての品目と、ロシア、メキシコを除くすべての国に対して競争力要因はマイナスであった。

最後に 2006 年から 2010 年をみる。中国の競争力要因は 1,254 億ドルのプラスである。品目では機械・電機が 723 億ドルと半分以上を占めている。国では、アメリカが 652 億ドルとほぼ半分を占めている。そしてアメリカの機械・電機だけで 317 億ドルと約 1/4 を占めているのである。鉱物・資源を除くすべての品目と、すべての国に対して競争力要因はプラスであった。日本の競争力要因は 446 億ドルのマイナスであった。品目では機械・電機のマイナスが 235 億ドルであり、国ではアメリカがマイナス 275 億ドルである。鉄鋼・金属を除くすべての品目と、インドネシアを除くすべての国に対して競争力要因はマイナスであった。

以上をまとめると、中国は鉱物・資源を除くすべての品目の競争力要因が常にプラスであったこと、機械・電機の競争力要因の値が大きかったこと、アメリカに対する競争力要因の値が大きかったことが注目に値する。この期間、輸出においては中国のひとり勝ちの状態であった。

5. CMS 分析の結果 農林水産物

つぎに、農林水産物輸出に関する CMS 分析の結果を見る。

対象期間であるが、3 ヶ年移動平均データを使用した。2000 年から 2003 年、2003 年から 2006 年、および 2006 年から 2009 年にかけての輸出変化率について分析した。

農林水産物貿易の分析に当たっては、農林水産物を「肉類」、「酪農品」、「野菜・果物」、「穀物」、「油糧種子・油脂」、「砂糖類」、「水産物」、「その他農水産物」および「林産物」の 9 品目に分類することとする。

分類したそれぞれの品目が対応する HS コードは次のとおりである。

「肉類」・・・HS02, HS1601, HS1602

「酪農品」・・・HS04

「野菜・果物」・・・HS07, HS08, HS20

「穀物」・・・HS10, HS11, HS19

「油糧種子・油脂」・・・HS12, HS15

「砂糖類」・・・HS17

「水産物」・・・HS03, HS1604, HS1605

「その他農水産物」・・・HS01, HS05, HS06, HS09, HS13, HS14, HS1603, HS18
HS21, HS22, HS23, HS24

「林産物」・・・HS44

まず第 5 表および第 6 表からわかることは、中国の輸出増加が APEC の他の国と比較しても、かなり大きいということである。そして輸出増加額の大部分を競争力要因が占めていること、競争力要因の比率は低下傾向にあることである。2000 年から 2003 年にかけては、中国の輸出増加額は対象国中で最大であり、52 億ドルであった。また競争力要因も最大であり 40 億ドルにも達した。2003 年から 2006 年にかけては、中国の輸出増加額はアメリカについて大きく、84 億ドルにも達した。競争力要因も対象国中で最大であり、42 億ドルであった。2006 年から 2009 年にかけては、中国の輸出増加額はアメリカについて大きく、47 億ドルであった。競争力要因もアメリカについて大きい、7 億ドルと以前の時期に比べると大幅に減少している。日本は、いずれの時期においても輸出増加額は中国の 1/10 程度でしかなかった。競争力要因については、中国はすべての時期でプラスであるのに対して、日本はすべての時期でマイナスであった。

第 5 表 CMS 分析の結果 農林水産物

単位：千ドル

	年	貿易変化額	市場要因	純品目要因	純国別要因	競争力要因	残差
中国	2000～2003	5,252,765	1,739,342	-548,197	130,837	4,027,825	-97,042
	2003～2006	8,415,317	4,814,560	-482,147	247,169	4,215,523	-379,788
	2006～2009	4,734,701	6,146,612	-356,029	-1,058,977	708,363	-705,267
日本	2000～2003	242,022	251,243	138,949	5,699	-153,761	-108
	2003～2006	620,154	539,104	175,776	27,002	-69,295	-52,432
	2006～2009	467,255	606,866	318,474	38,360	-494,715	-1,730
韓国	2000～2003	-103,228	423,390	-177,571	-19,465	-343,848	14,266
	2003～2006	262,840	753,849	-176,705	-125,155	-293,740	104,592
	2006～2009	806,693	695,909	-19,220	-42,009	14,651	157,362
インドネシア	2000～2003	471,116	811,733	190,402	-134,187	-359,128	-37,704
	2003～2006	1,730,955	1,647,723	238,058	5,102	-4,291	-155,636
	2006～2009	3,219,890	1,813,272	1,219,982	514,876	-92,096	-236,144
マレーシア	2000～2003	1,371,315	629,560	282,486	-46,058	422,786	82,541
	2003～2006	2,646,921	1,582,300	470,413	71,521	535,878	-13,191
	2006～2009	3,245,312	1,990,071	1,401,985	653,248	-1,082,393	282,400
フィリピン	2000～2003	228,292	232,395	-44,262	60,477	-41,936	21,617
	2003～2006	668,045	499,999	33,509	156,466	55,816	-77,745
	2006～2009	784,064	586,312	-1,884	119,494	182,629	-102,486
台湾	2000～2003	173,217	294,819	-84,822	18,753	2,999	-58,532
	2003～2006	57,449	599,087	-178,375	-102,304	-266,666	5,707
	2006～2009	75,094	514,781	36,739	-83,360	-351,529	-41,536
タイ	2000～2003	1,045,756	1,088,161	-77,191	-225,691	116,744	143,733
	2003～2006	2,387,213	2,334,168	-93,767	-194,879	266,542	75,149
	2006～2009	3,621,740	2,552,297	495,778	-309,067	675,346	207,386
ロシア	2000～2003	496,405	235,353	227,853	-107,223	137,465	2,957
	2003～2006	1,509,458	586,607	447,327	82,113	600,263	-206,853
	2006～2009	841,916	871,227	1,036,032	-1,720,981	345,891	309,747
メキシコ	2000～2003	1,130,416	1,210,098	298,182	446,567	-515,141	-309,291
	2003～2006	3,637,639	2,585,889	74,694	728,968	556,164	-308,076
	2006～2009	1,857,050	3,078,431	-1,147,118	1,785,834	-239,329	-1,620,769
オーストラリ	2000～2003	1,716,080	1,099,631	58,172	-23,331	659,661	-78,053
	2003～2006	2,234,844	2,558,258	-422,239	-195,245	155,527	138,543
	2006～2009	2,138,700	2,700,925	50,034	-169,709	-485,041	42,491
カナダ	2000～2003	3,420,050	4,543,630	411,671	-324,362	-731,397	-479,492
	2003～2006	5,656,779	9,459,956	-909,519	-808,131	-2,131,696	46,169
	2006～2009	-1,365,900	9,328,758	-5,121,042	-2,387,056	-1,663,861	-1,522,699
アメリカ	2000～2003	3,588,932	6,473,783	-675,673	217,984	-3,222,270	795,108
	2003～2006	11,223,977	13,090,092	822,975	107,374	-3,620,026	823,562
	2006～2009	24,225,654	13,766,709	2,086,270	2,659,347	2,482,084	3,231,245

資料：Global Trade Atlas から作成。

第 6 表 CMS 分析の結果 農林水産物 構成比

単位：％

	年	貿易変化額	市場要因	純品目要因	純国別要因	競争力要因	残差
中国	2000～2003	100	33.1	-10.4	2.5	76.7	-1.8
	2003～2006	100	57.2	-5.7	2.9	50.1	-4.5
	2006～2009	100	129.8	-7.5	-22.4	15.0	-14.9
日本	2000～2003	100	103.8	57.4	2.4	-63.5	0.0
	2003～2006	100	86.9	28.3	4.4	-11.2	-8.5
	2006～2009	100	129.9	68.2	8.2	-105.9	-0.4
韓国	2000～2003	-100	410.2	-172.0	-18.9	-333.1	13.8
	2003～2006	100	286.8	-67.2	-47.6	-111.8	39.8
	2006～2009	100	86.3	-2.4	-5.2	1.8	19.5
インドネシア	2000～2003	100	172.3	40.4	-28.5	-76.2	-8.0
	2003～2006	100	95.2	13.8	0.3	-0.2	-9.0
	2006～2009	100	56.3	37.9	16.0	-2.9	-7.3
マレーシア	2000～2003	100	45.9	20.6	-3.4	30.8	6.0
	2003～2006	100	59.8	17.8	2.7	20.2	-0.5
	2006～2009	100	61.3	43.2	20.1	-33.4	8.7
フィリピン	2000～2003	100	101.8	-19.4	26.5	-18.4	9.5
	2003～2006	100	74.8	5.0	23.4	8.4	-11.6
	2006～2009	100	74.8	-0.2	15.2	23.3	-13.1
台湾	2000～2003	100	170.2	-49.0	10.8	1.7	-33.8
	2003～2006	100	1042.8	-310.5	-178.1	-464.2	9.9
	2006～2009	100	685.5	48.9	-111.0	-468.1	-55.3
タイ	2000～2003	100	104.1	-7.4	-21.6	11.2	13.7
	2003～2006	100	97.8	-3.9	-8.2	11.2	3.1
	2006～2009	100	70.5	13.7	-8.5	18.6	5.7
ロシア	2000～2003	100	47.4	45.9	-21.6	27.7	0.6
	2003～2006	100	38.9	29.6	5.4	39.8	-13.7
	2006～2009	100	103.5	123.1	-204.4	41.1	36.8
メキシコ	2000～2003	100	107.0	26.4	39.5	-45.6	-27.4
	2003～2006	100	71.1	2.1	20.0	15.3	-8.5
	2006～2009	100	165.8	-61.8	96.2	-12.9	-87.3
オーストラリ	2000～2003	100	64.1	3.4	-1.4	38.4	-4.5
	2003～2006	100	114.5	-18.9	-8.7	7.0	6.2
	2006～2009	100	126.3	2.3	-7.9	-22.7	2.0
カナダ	2000～2003	100	132.9	12.0	-9.5	-21.4	-14.0
	2003～2006	100	167.2	-16.1	-14.3	-37.7	0.8
	2006～2009	-100	683.0	-375.0	-175.0	-122.0	-112.0
アメリカ	2000～2003	100	180.4	-18.8	6.1	-89.8	22.2
	2003～2006	100	116.6	7.3	1.0	-32.3	7.3
	2006～2009	100	56.8	8.6	11.0	10.2	13.3

資料：Global Trade Atlas から作成。

第7表 競争力要因の内訳 農林水産物

単位：千ドル

中国	2000～2003	日本	中国	韓国	インドネシ	マレーシ	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	酪農品	18,939	0	977	139	3,715	-1,413	2,850	158	583	-453	442	-601	-621	24,712
	水産物	444,275	0	73,088	34,503	32,809	16,998	16,642	12,412	11,352	55,038	32,251	44,905	393,449	1,167,722
	穀物	123,397	0	185,473	15,682	-32,961	9,095	10,015	-9,003	30,107	290	7,600	1,673	6,543	347,911
	肉類	48,893	0	1,129	859	-1,651	3,205	-830	-1,865	88,321	414	-129	39	4,578	142,963
	油糧種子・油脂	-49,534	0	17,030	973	-14,092	7,610	3,498	2,855	-918	5,635	-927	2,027	5,444	-20,398
	砂糖類	1,868	0	5,032	434	5,992	7,790	-476	-1,157	1,941	678	5,704	926	14,119	42,851
	林産物	379,869	0	51,709	3,825	1,282	5,559	36,193	6,870	8,833	8,327	22,795	77,200	575,133	1,177,597
	野菜・果実	172,443	0	35,590	24,741	59,834	25,266	17,369	34,924	19,222	3,174	13,496	17,161	217,589	640,809
	その他	294,569	0	39,373	-28,441	24,407	16,054	48,830	12,979	7,262	2,807	7,261	10,851	67,706	503,659
	品目計	1,434,719	0	409,398	52,715	79,336	90,165	134,091	58,174	166,704	75,909	88,493	154,181	1,283,939	4,027,825
日本	2000～2003	日本	中国	韓国	インドネシ	マレーシ	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	酪農品	0	-127	194	22	49	127	-240	229	42	0	-453	-4	-1,316	-1,477
	水産物	0	35,084	-17,478	-3,312	-1,534	517	8,719	12,086	-6,845	-81	-2,844	-3,193	-642	20,477
	穀物	0	-1,259	3,288	-16,619	-1,507	343	-8,788	-1,128	89	50	-840	-335	-11,493	-38,199
	肉類	0	-301	-1,281	6	9	-194	-908	411	-359	-1	-107	16	-587	-3,296
	油糧種子・油脂	0	-6,382	-7,812	-803	-3,440	-86	-1,463	545	335	-331	-1,116	108	-3,261	-23,706
	砂糖類	0	471	4,294	-217	-15	-49	-7,912	-261	-25	7	-62	-1,286	-1,815	-6,870
	林産物	0	12,393	-9,908	-223	-2,393	484	-4,162	339	-77	-699	130	-5	-294	-4,415
	野菜・果実	0	1,749	-6,929	-563	-469	-97	32,037	-1,240	-482	7	-280	-805	-5,012	17,916
	その他	0	-47,962	-3,939	-46	-2,275	-97	-31,993	-8,121	2,849	98	-13,896	212	-9,022	-114,192
	品目計	0	-6,332	-39,570	-21,755	-11,575	948	-14,711	2,859	-4,473	-949	-19,468	-5,293	-33,442	-153,761
中国	2003～2006	日本	中国	韓国	インドネシ	マレーシ	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	酪農品	-4,142	0	675	75	-4,312	4,123	28,751	7,129	-2,151	-420	-2,375	-2,425	-8,531	16,396
	水産物	550,614	0	52,027	-14,284	56,983	3,955	49,530	-725	14,356	60,170	28,783	69,593	419,912	1,290,914
	穀物	63,165	0	-236,817	-132,813	-129,859	24,672	5,352	8,132	1,381	604	5,685	6,529	18,427	-365,541
	肉類	133,266	0	47,860	-1,535	1,096	821	557	233	-145,120	-8	-952	355	18,747	55,318
	油糧種子・油脂	-3,210	0	52,303	-11,133	5,033	-29,203	6,249	8,884	-38,457	1,690	-54	5,626	5,141	2,869
	砂糖類	2,852	0	16,430	-947	6,646	8,009	-1,291	654	6,784	1,459	3,888	9,087	28,787	82,358
	林産物	75,882	0	60,081	25,479	19,625	6,226	47,193	38,212	32,464	33,257	39,736	168,715	1,171,655	1,718,525
	野菜・果実	232,609	0	92,968	61,214	113,384	22,941	17,396	43,874	-6,770	9,199	11,479	48,387	348,746	995,426
	その他	136,125	0	57,662	26,416	14,133	21,243	9,204	-209	-14,824	15,922	9,890	2,256	141,440	419,259
	品目計	1,187,161	0	143,189	-47,529	82,731	62,786	162,940	106,184	-152,337	121,871	96,081	308,122	2,144,324	4,215,523
日本	2003～2006	日本	中国	韓国	インドネシ	マレーシ	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	酪農品	0	2,058	-705	164	-108	1,524	740	-222	-112	27	1	1	-479	3,660
	水産物	0	52,089	33,957	4,655	-2,799	3,907	51	8,660	-26,925	249	-5,039	-632	15,383	83,556
	穀物	0	-891	5,166	-3,155	294	107	572	-3,817	575	-109	-509	492	-11,171	-7,048
	肉類	0	-3,022	-76	28	416	-11	31	-777	-20	1	0	21	3,851	442
	油糧種子・油脂	0	-4,692	3,029	689	-2,724	-1,152	-2,464	422	362	-59	-2,109	337	-38,246	-46,607
	砂糖類	0	-1,277	1,182	64	157	28	3,228	549	268	-26	-409	-110	-5,695	-2,042
	林産物	0	-14,881	-1,927	-5,749	-1,101	-138	-1,293	280	-155	-58	-167	-159	1,718	-23,631
	野菜・果実	0	-473	-2,032	-222	-215	-94	17,759	-1,589	-437	0	-258	-2,713	-5,134	4,592
	その他	0	-6,600	-36,043	-2,574	110	-3,344	2,602	-1,589	3,809	1,201	-7,034	-3,692	-29,066	-82,219
	品目計	0	22,311	2,552	-6,100	-5,971	827	26,625	1,916	-22,634	1,227	-14,754	-6,455	-68,839	-69,295
中国	2006～2010	日本	中国	韓国	インドネシ	マレーシ	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	酪農品	-9,301	0	-3,325	802	3,871	-3,503	-13,409	-2,849	-542	280	302	-984	-13,050	-41,707
	水産物	-24,500	0	-138,847	7,529	53,754	4,777	195,040	52,799	35,083	16,870	1,536	66,344	352,522	622,906
	穀物	-389,256	0	-882,470	-114,991	-105,797	-116,972	29,349	-11,306	-27,062	838	-11,669	4,367	6,274	-1,618,696
	肉類	-306,246	0	-49,592	-8,458	7,072	-33,999	-852	-391	-38,175	672	13	-448	-4,131	-434,535
	油糧種子・油脂	-106,450	0	-5,461	3,492	-45,830	-22,519	15,717	24,867	-11,627	-8,392	-1,788	-5,398	-33,325	-196,715
	砂糖類	-7,406	0	13,894	6,877	21,300	-809	2,757	10,329	7,130	3,209	12,618	3,522	25,589	99,011
	林産物	3,243	0	-21,542	3,686	3,305	6,872	-48,643	28,272	8,672	19,634	24,085	63,220	925,413	1,016,217
	野菜・果実	-74,925	0	15,305	68,969	95,432	17,161	23,956	74,893	3,813	11,060	-483	33,447	253,868	522,495
	その他	265,201	0	10,891	39,021	-36,656	19,755	29,202	25,171	9,427	54,434	39,787	14,075	269,080	739,387
	品目計	-649,641	0	-1,061,147	6,927	-3,549	-129,237	233,117	201,785	-13,280	98,605	64,401	178,144	1,782,239	708,363
日本	2006～2010	日本	中国	韓国	インドネシ	マレーシ	フィリピン	台湾	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ	国合計
	酪農品	0	-4,913	-73	-90	40	-1,961	239	233	-164	-37	-1,869	0	-126	-8,721
	水産物	0	-141,813	-60,662	-10,892	2,926	-4,800	-34,700	-40,232	13,199	-334	1,407	-2,907	12,947	-265,861
	穀物	0	4,273	7,115	-1,871	-309	-336	-7,463	-3,684	496	-6	-333	361	-19,230	-20,987
	肉類	0	49	176	-137	-628	-24	376	35	-6	-1	67	194	2,163	2,265
	油糧種子・油脂	0	-27,741	-5,744	-3,520	-2,933	-205	-4,122	-1,846	-895	24	-651	-1,039	-29,978	-78,649
	砂糖類	0	558	-14,294	-111	-361	-180	-8,711	-1,145	226	35	-554	-38	-2,768	-27,342
	林産物	0	-9,362	9,232	-1,810	-1,995	14,168	3,257	-1,823	258	-1	-51	146	6,864	18,883
	野菜・果実	0	-1,470	-639	-899	-86	-82	-1,070	-1,063	-158	41	-120	-1,689	-2,148	-9,384
	その他	0	-84,458	-11,633	-8,320	-3,855	2,483	-22,698	-7,192	545	-558	-3,270	1,197	32,841	-104,917
	品目計	0	-264,877	-76,523	-27,650	-7,201	9,064	-74,892	-56,717	13,502	-838	-5,374	-3,776	566	-494,715

資料：Global Trade Atlas から作成。

次に第7表により、中国の競争力要因を細かくみてみよう。その際に、中国と対照的にすべての時期で競争力要因がマイナスであった日本との比較を行う。2000年から2003年にかけては、油糧種子・油脂を除くすべての農林水産物において中国の競争力要因はプラスであった。合計は40億ドルであったが、水産物が12億ドル、林産物も12億ドルと、それぞれ1/4を占めている。輸入国別にみるとすべての対象国に対してプラスの値であり、日本が14億ドル、アメリカが13億ドルである。他方、日本の競争力要因は、水産物と野菜・果実を除く7品目においてマイナスである。また輸入国別にみても、フィリピンを除くすべての対象国でマイナスである。

2003年から2006年にかけては、穀物を除くすべての農林水産物において中国の競争力要因はプラスであった。合計は42億ドルであったが、水産物が13億ドル、林産物も17億ドルと、大きな比率を占めている。輸入国別にみると日本が12億ドル、アメリカが21億ドルと大きな比率を占めている。日本の競争力要因は、7千万ドルのマイナスであり、多くの品目でマイナスの値をとっている。ただし水産物は8千万ドルのプラスである。

2006年から2009年にかけては、中国の競争力要因は71億ドルと小さくなっている。またマイナスの値を示す品目が増えている。特に穀物のマイナス16億ドルが目立っている。水産物は6億ドルへ半減しているが、林産物は10億ドルである。輸入国別にみるとアメリカが18億ドルと相変わらず大きい。しかし韓国、フィリピン、日本、およびマレーシアに対する輸出に対しては競争力を減少させている。日本の競争力要因は5億ドルのマイナスである。品目別にみると、これまでプラスであった水産物と野菜・果実もマイナスに変わり、林産物を除くすべての品目でマイナスである。輸入国別に見ても、多くの国でマイナスである。

6. 経常収支の変化

第8表に対象国の経常収支の推移をあげておく（ただし台湾は統計の関係上、除外。）。中国の経常黒字の増加にはめざましいものがある。1990年代においては中国の経常黒字は日本の1/10程度での規模でしかなかった。しかし、1997年から中国の経常黒字はすさまじい勢いで増加を始める。1997年には370億ドルであったのが、2004年の687億ドルまで順調に推移し、2005年には1,341ドルと初めて1,000億ドルを突破した。2006年には2,328ドルとなり、日本の1,704億ドルを追い越して、これ以降日中逆転が続いている。2010年には3,053億ドルとなり、アメリカの経常赤字額4,709億ドルの6割にもなっている。この年日本の経常黒字は1,959億ドルであった。ここまで圧倒的な経常黒字国はない。

第8表 経常収支の推移

単位：億ドル

年度	中国	日本	韓国	インドネシア	マレーシア	フィリピン	タイ	ロシア	メキシコ	オーストラリア	カナダ	アメリカ
1982	57	69	-21	-53	-36	-32	-10	n/a	-59	-85	18	-116
1983	42	208	-14	-63	-35	-28	-29	n/a	59	-63	-25	-442
1984	20	350	-4	-19	-17	-13	-21	n/a	42	-89	-14	-990
1985	-114	511	-15	-19	-6	0	-15	n/a	8	-92	-57	-1,245
1986	-70	859	45	-39	-1	10	2	n/a	-14	-98	-112	-1,472
1987	3	844	108	-21	26	-4	-4	n/a	42	-80	-134	-1,606
1988	-38	792	148	-14	19	-4	-17	n/a	-24	-117	-148	-1,213
1989	-43	632	53	-11	3	-15	-25	n/a	-58	-179	-218	-995
1990	120	441	-14	-30	-9	-27	-73	n/a	-75	-159	-198	-790
1991	133	682	-75	-43	-42	-10	-76	n/a	-149	-110	-223	29
1992	64	1,126	-22	-28	-22	-10	-63	n/a	-244	-111	-212	-516
1993	-116	1,316	30	-21	-30	-30	-64	n/a	-234	-96	-218	-848
1994	69	1,303	-35	-28	-45	-30	-81	78	-297	-169	-130	-1,216
1995	16	1,110	-80	-64	-86	-20	-136	70	-16	-193	-43	-1,136
1996	72	658	-230	-77	-45	-40	-147	108	-25	-155	34	-1,247
1997	370	968	-82	-49	-59	-44	-30	-1	-77	-119	-82	-1,407
1998	315	1,187	426	41	95	15	142	2	-160	-178	-78	-2,150
1999	211	1,146	245	58	126	-29	124	246	-140	-213	18	-3,017
2000	205	1,197	148	80	85	-22	93	468	-187	-148	196	-4,163
2001	174	878	84	69	73	-18	51	339	-177	-74	163	-3,966
2002	354	1,124	75	78	72	-3	47	291	-142	-158	126	-4,573
2003	459	1,362	156	81	134	3	48	354	-72	-287	107	-5,191
2004	687	1,721	323	16	151	16	28	595	-52	-389	229	-6,285
2005	1,341	1,658	186	3	200	20	-76	846	-51	-410	217	-7,458
2006	2,327	1,705	141	109	262	53	23	947	-45	-415	181	-8,006
2007	3,540	2,105	218	105	298	71	157	778	-89	-580	120	-7,103
2008	4,124	1,566	32	1	389	36	22	1,035	-163	-478	64	-6,771
2009	2,611	1,422	328	106	318	94	219	486	-64	-439	-400	-3,766
2010	3,054	1,958	282	56	273	89	148	703	-57	-320	-493	-4,709

資料：World Bank.

7. おわりに

中国の輸出額は、2009 年以降、ドイツを抜いて世界一となっている。中国の急激な輸出成長の原因を探るために、CMS 分析を試みた。その結果、一般財では、鉱物・資源を除き、中国の輸出競争力は、すべての品目でプラスの値をとっていること、すなわち農林水産物でさえもプラスであることが判明した。また、その値が他の国と比較して大きいことが判明した。すなわち、中国の輸出成長は大部分が競争力要因によるものであり、他の国のシェアを奪うことで成長してきたのである。しかし、貿易理論によれば、ある国は比較優位のある財を輸出し、比較劣位の財を輸入することが知られている。しかし中国では鉱物・資源を除くすべての財に競争力すなわち比較優位があるといえるのである。この事実は比較優位に基づく貿易理論では説明が難しい。すなわち、ほとんどすべての財に競争力を有する国は従来の経済理論で存在しないのである。なお、中国はその輸出競争力の故に、今や世界一の経常黒字国となっている。世界中の富が中国へ集中しているといえる。

注(1) 横田一彦、浦田秀二郎、小浜裕久(1993)「環太平洋諸国の輸出拡大—CMS 分析と輸出競争力の決定因—」『アジア経済』第 34 巻、第 1 号、pp.1-22.

(2) 黒沼勇史(2008)「新興国の輸出拡大要因—CMS 分析と輸出競争力の決定因—」, *JCER REVIEW*, vol.65, pp.1-19.

(3) Richardson, J. David(1971) “Some Sensitivity Tests for a Constant Shares Analysis of Export Growth”

The Review of Economics and Statistics, vol.53, No.3, pp.300-304.